

都市再生整備計画 事後評価シート  
千倉駅周辺地区

平成23年3月

千葉県南房総市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	南房総市		地区名	千倉駅周辺地区			面積	225ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	467.7百万円	国費率	0.389				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路:市道千倉7号線(旧市道駅前線)、市道千倉11号線(旧市道寺庭岡瀬田線)、市道千倉12号線(旧市道南岡瀬田線) 地域生活基盤施設:情報板整備									
			提案事業	地域創造支援事業:千倉駅舎改築									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	道路:市道千倉102号線(旧市道瀬戸1号線)			本事業は、他工区と調整を図りながら関連事業で実施する。			指標1(高速バス利用者数)及び指標2(事業の実施効果に対する住民評価)に関係するが、数値目標は据え置く。			
			提案事業	まちづくり活動推進事業:レンタサイクルに関する社会実験			市全域で実施している「くるくる車ららん」事業と統合し、関連事業に移行した。			指標1(高速バス利用者数)及び指標2(事業の実施効果に対する住民評価)に関係するが、数値目標は据え置く。			
新たに追加した事業		基幹事業	道路:市道千倉9号線(旧市道塔ノ下線) 地域生活基盤施設:千倉駅前駐輪場整備、千倉駅前駐輪場整備、シェルターの整備			道路:千倉中学校周辺道路の改良が必要になったため。 地域生活基盤施設:道路事業に位置づけられていた本事業を、項目修正した。			指標1(高速バス利用者数)及び指標2(事業の実施効果に対する住民評価)に関係するが、数値目標は据え置く。				
		提案事業	地域創造支援事業:バス待合所の整備			道路事業に位置づけられていた本事業を、項目修正した。			指標1(高速バス利用者数)及び指標2(事業の実施効果に対する住民評価)に関係するが、数値目標は据え置く。				
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	高速バス利用者数	人	7,100	H17	9,100	H22	モニタリング	評価値	○	あり なし	新千倉駅舎の供用開始、駅前広場へのバスの乗り入れ開始等により公共交通の利便性が向上し、効果の発現を促進した。	平成23年4月
	指標2	事業の実施効果に対する住民評価	-	1.0	H17	1.2	H22		2.1	○	あり なし	駅舎の改築、駅前広場の整備等により交通アクセス・利便性が向上し、効果の発現を促進した。	-
	指標3	公共案内標識の整備率	基	0	H17	12	H22		12	○	あり なし	駅周辺にオリジナリティのある標識を整備したことで、観光客等の利便性の向上に寄与した。	平成23年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	レンタサイクル貸出件数	件	457	H17			モニタリング	671			駅舎の改築、駅前広場の整備等により交通アクセス・利便性が向上し、効果の発現を促進した。	平成23年4月
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の著しかった旧駅舎を、モダンで斬新な新駅舎に改築したことにより、玄関口のイメージアップが図られた。また、駅前広場と一体で整備した市道千倉7号線(旧市道駅前線)の道路改良により、交通の円滑化が図られた。</li> <li>・駅前広場にバス待合所を設置したこと、また駐車を整備したこと等によりバス利用者だけでなく、公共交通の利便性が向上した。</li> <li>・駅周辺にオリジナリティのある標識を整備したことで、本市を訪れた観光客等に分かりやすい情報を提供し、利便性の向上に寄与した。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

## 様式2-2 地区の概要

### 千倉駅周辺地区(千葉県南房総市)都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<b>大目標:</b> 駅及び周辺道路の環境改善により、住む人や観光客に安らぎをもたらす「ゆったりすこやか」型観光の拠点創出 <b>目標1:</b> 観光案内所や多目的スペースを有した魅力ある駅を整備することにより、観光客の増加を図る。 <b>目標2:</b> 無秩序化された駅前広場を整備することにより、交通の利便性・安全性の向上を図る。 <b>目標3:</b> ピクトグラム(図記号)を利用した公共案内標識を整備することにより、住民や観光客に親しみやすく分かりやすい情報を提供する。	高速バス利用者数	単位: 人	7,100	H17	9,100	H22	11,321	H22
	事業の実施効果に対する住民評価	単位: -	1.0	H17	1.2	H22	2.1	H22
	公共案内標識の整備率	単位: 基	0	H17	12	H22	12	H22
	レンタサイクル貸出件数	単位: 件	457	H17			671	H22

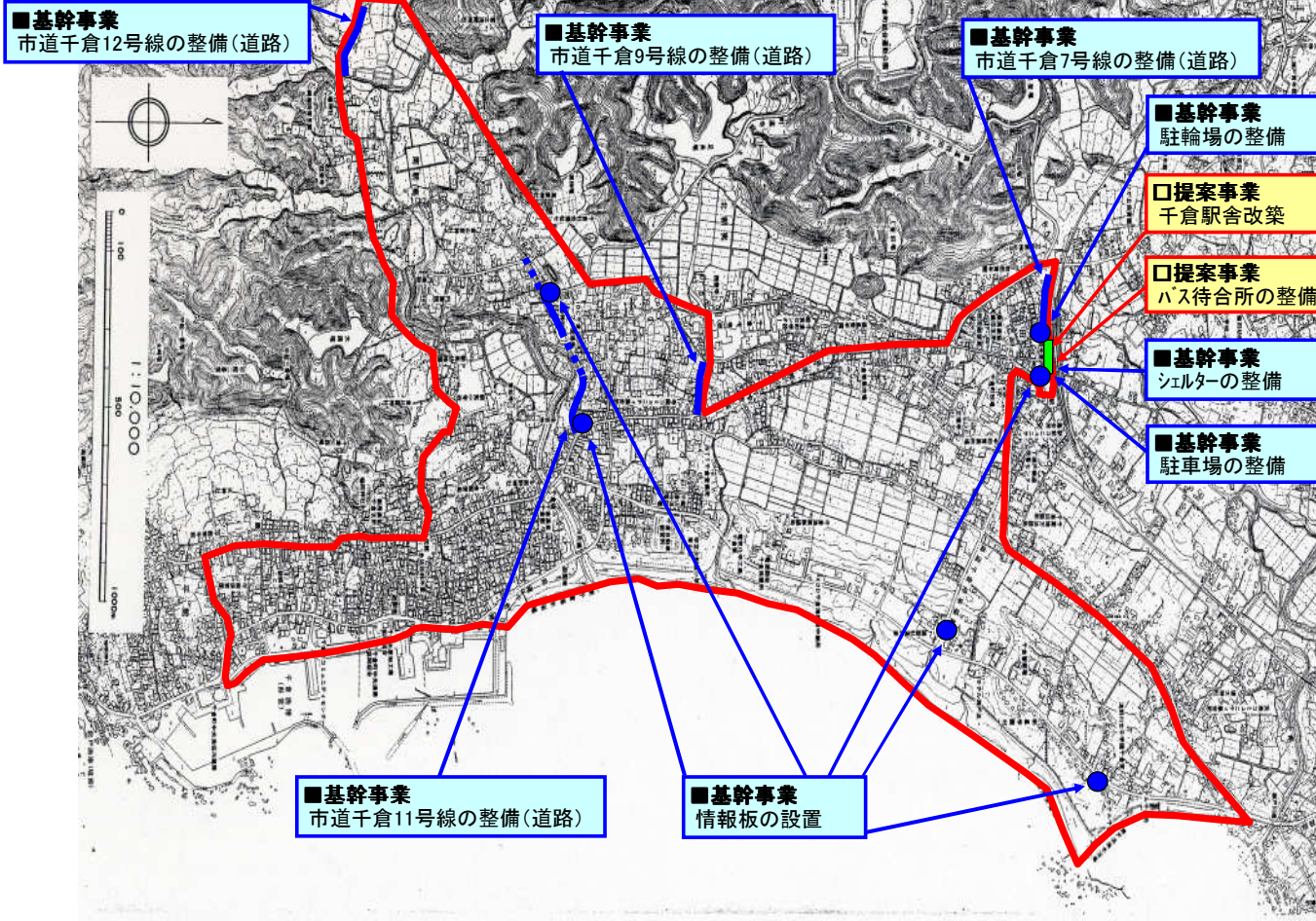
市道千倉7号線の整備



市道千倉11号線の整備



市道千倉12号線の整備



千倉駅舎改築



バス待合所・シェルターの整備



情報板の整備



まちの課題の変化

- 千倉駅舎の改築をはじめ、駅前道路や駅前広場の整備等主たる施設整備が完了し、玄関口としてのイメージアップが図られた。また、花摘み等のPRにより市域を訪れる観光客の滞在の長時間化につながっている。
- 高家神社周辺の道路やフラワーマーケットのメイン会場となる千倉中学校付近の道路の整備により、交通の利便性が向上した。
- 千倉駅舎や駅前広場が整備される一方で、駅周辺の活性化が未解決の課題である。また、市道千倉7号線(旧市道駅前線)の未改良区間の改良も課題の一つである。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 環境整備された施設や道路等は、今後、維持管理を徹底し、快適性・利便性の効果継続を図る。また、駅周辺のサイン整備が完了したので、更なる利便性向上のために市内全域の整備拡充を図る。
- 市の目指す「ゆったりすこやか」型観光(体験型観光)をイベント等でPRし、誘客の増加を図る。
- 駅周辺の活性化については、観光協会や旅館組合などと連携し、誘客の増加・滞在の長時間化を図る施策を検討する。
- 市道千倉7号線(旧市道駅前線)の未改良区間の改良については、用地地権者と継続的に交渉し、全線整備を推進する。